

## 地域医療再生基金管理運営要領に基づく平成27年度事業実施状況報告について

### 1 基金保管実績

基金の保有区分	年度当初保管額 (A)	年度内異動額 (B)	年度末保管額 (A-B)
繰替運用	27,764,207,842円	3,432,363,772円	24,331,844,070円
合計額	27,764,207,842円	3,432,363,772円	24,331,844,070円

### 2 基金運用実績

基金の保有区分	利息額	差益額
繰替運用	17,619,958円	円
合計額	17,619,958円	円

※基金の保有形態別に、収入の種別により記載する他、内訳を添付すること。

### 3 基金事業実施状況(岩手県地域医療再生計画)

#### (1)平成21年度交付要綱第4の別表の地域(盛岡医療圏)【25億円】

##### (ア)事業実施計画

(単位:円)

地域医療再生計画	事業者名(施設名等 (開設者名を含む))	平成27年度実施事業内容	平成27年度 事業予定額 (計画時)	平成27年度実事業費		
				都道府県助成額	再生基金充当額	事業者負担額
①当該地域における事業						
②都道府県単位の事業			236,057,000	156,572,425	156,572,425	0
VI1(3)イ 周産期電子カルテの導入	県・県医療局・県内医療機関	・周産期母子医療センター等に整備した周産期電子カルテの運営	7,606,000	5,778,616	5,778,616	0
VI1(3)ウ 周産期超音波画像伝送システムの導入	県・県医療局・県内医療機関	・周産期母子医療センター等に整備した超音波画像伝送システムの運営 ・胎児心疾患診断連携連携体制の構築(超音波診断装置の整備)	115,414,000	98,064,000	98,064,000	0
VI1(3)エ 周産期医療情報ネットワークシステム「イーはとーぶ」の加入拡大	県・市町村	・「イーはとーぶ」加入市町村の拡大 ・市町村保健システムについて、周産期医療情報ネットワークシステムとのデータ連携のための改修(補助)を実施	4,000,000	1,620,000	1,620,000	0
VI1(3)オ 周産期医療情報連携に係る医療従事者の人材育成	県	・助産師等の医療従事者のスキルアップを図るため、各種講座等(新生児蘇生法の普及、超音波画像診断装置操作実習等)を実施	5,902,000	4,867,389	4,867,389	0
合計			236,057,000	156,572,425	156,572,425	0

#### (イ)地域医療再生計画に掲げる目標のうち、本年度達成状況及び評価

○ 胎児心疾患診断連携体制の構築などにより、周産期診断体制の向上を図ったほか、周産期電子カルテの運営や助産師等に対する新生児蘇生法の普及等の各種講座を実施するなど、より安全な周産期医療体制の構築、医師の負担軽減のための医療環境の整備を行った。

#### (2)平成21年度交付要綱第4の別表の地域(釜石医療圏)【25億円】

##### (ア)事業実施計画

(単位:円)

地域医療再生計画	事業者名(施設名等 (開設者名を含む))	平成27年度実施事業内容	平成27年度 事業予定額	平成27年度実事業費		
				都道府県助成額	再生基金充当額	事業者負担額
①当該地域における事業						
②都道府県単位の事業			24,987,000	27,177,440	23,006,000	4,171,440
6(1)ア 市町村が行う中核病院に対する診療応援事業を支援	県医療局・市町村	・市町村が主体となって中核病院を支援する取組を実施(1市) ・中核病院における休日夜間の地元開業医による診療応援体制の確保(4県立病院)	2,900,000	5,090,440	919,000	4,171,440
6(1)オ 看護職員修学資金貸付の拡充	県	看護学生に対する修学資金貸与	22,087,000	22,087,000	22,087,000	0
合計			24,987,000	27,177,440	23,006,000	4,171,440

#### (イ)地域医療再生計画に掲げる目標のうち、本年度達成状況及び評価

○ 医師が不足する地域の医療提供体制を確保するため、地元医師会と連携し、中核病院に対する診療支援を行い、医師が不足する地域の医療提供体制の確保を図った。  
○ 深刻な看護師不足に対応するため、看護学生に対する修学資金貸与の拡充を行い、県内の看護職員の確保定着に向けた取組を推進した。

(3)平成23年度(22年度からの繰越分)交付要綱第4の別表の事業【120億円】

(ア)事業実施計画

(単位:円)

地域医療再生計画	事業者名(施設名等 (開設者名を含む))	平成27年度実施事業内容		平成27年度実事業費			
				都道府県助成額	再生基金充当額	事業者負担額	
当該地域における事業			615,973,000	339,897,976	235,403,734	235,403,734	104,494,242
V1(1)ウ① 仮設診療所整備事業	県	・仮設診療所の設置(無償貸出)及び本設等により不要となった仮設診療所建屋等の撤去	30,817,000	435,400	435,400	435,400	0
V1(1)ウ④ 被災地医療施設運営支援事業	県	・陸前高田市に県医師会が設置した仮設診療所に対する運営等の支援	45,000,000	74,050,242	45,514,000	45,514,000	28,536,242
V1(4)ウ② 被災地薬剤師確保事業	県	・被災地薬局の薬剤師を確保するため、薬学生と被災地薬剤師との交流研修、薬学生実習の受け入れのための指導薬剤師の養成及び薬剤師の職責に係る啓発講座等を実施	5,804,000	5,789,880	5,789,880	5,789,880	0
V1(4)ウ④ 沿岸被災地応急仮設公舎整備事業	県医療局	・平成23年度に整備した仮設公舎の設置継続(リース料補助)	30,238,000	6,489,000	6,489,000	6,489,000	0
V1(5)ウ② 病院非常用設備発電整備事業	県・県医療局・医療機関	・災害拠点病院等への自家発電設備等の整備(内陸1病院)	120,277,000	96,036,500	20,078,500	20,078,500	75,958,000
V2(3) 県立療育センター整備事業	県	・移転新築工事の実施	383,837,000	157,096,954	157,096,954	157,096,954	0
合計			615,973,000	339,897,976	235,403,734	235,403,734	104,494,242

(イ)地域医療再生計画に掲げる目標のうち、本年度達成状況及び評価

- 被災地における仮設診療所の運営等の支援や、医療従事者の養成・確保に取り組み、被災地の医療提供体制の再建を図った。
- 震災を踏まえ、災害時において診療機能を維持できるよう災害拠点病院等への自家発電設備等の整備を促進した。
- 震災を踏まえ、障がい児を含む子どものケアなど災害時の障がい児支援機能を付加するとともに、超重症児等の受入などの新たなニーズに対応するため、県立療育センターの移転新築工事を実施した。

(4)平成25年度交付要綱第4の別表の事業【15億円】

(ア)事業実施計画

(単位:円)

地域医療再生計画	事業者名(施設名等 (開設者名を含む))	平成27年度実施事業内容		平成27年度実事業費			
				都道府県助成額	再生基金充当額	事業者負担額	
当該地域における事業			548,882,000	362,532,819	350,251,083	184,182,840	12,281,736
VI1(1) 地域病院担い手医師の育成	県・医療機関	・養成医師研修プログラムの策定	2,673,000	34,138	34,138	34,138	0
VI1(2) 医療機関における認定看護師の養成支援	県・医療機関	・看護職員16名の認定看護師教育課程受講に対する支援	27,450,000	33,039,317	28,431,000	28,581,000	4,608,317
VI1(3) 医療メディエーターの養成支援	県・医療機関	・医療メディエーター養成研修の開催	792,000	791,658	791,658	791,658	0
VI2 ドクターヘリ運航体制の確立	県・岩手医科大学・県医療局	・ドクターヘリの運航支援	223,320,000	221,650,845	215,074,000	48,855,757	6,576,845
		・新たなヘリポートの整備【盛岡】	18,047,000	19,631	19,631	19,631	0
VI4 在宅医療(在宅医療推進事業)	県・医療機関等	・在宅医療連携体制の構築【内陸】 ・在宅医療設備整備	276,600,000	106,997,230	105,900,656	105,900,656	1,096,574
合計			548,882,000	362,532,819	350,251,083	184,182,840	12,281,736

(イ)地域医療再生計画に掲げる目標のうち、本年度達成予定状況

- 依然として厳しい医療人材不足に対応するため、奨学金養成医師研修プログラムを策定するほか、高度な看護技術を有する認定看護師の育成を推進した。
- 救急医療提供体制の充実や災害時における対応の強化を図るため、盛岡地域のドクターヘリヘリポートの整備を推進した。
- 高齢化の進展に伴い、県内各地における在宅医療提供体制を確保するため、多職種による連携体制構築のための拠点形成、研修等の取組、在宅医療に必要な設備整備に対する支援を実施した。

(5)基金の保有割合及び算定根拠

年度末保管額(C) (「1 基金保管実績」のうち、(1)~(4)分計)	平成28年度以降の事業実施に要する見込額計(D)	保有割合 C/D	(保有割合の算定根拠) 今後、事業が完了するまでに必要となる補助見込額に対する年度末保管額(運用益を含む)の割合
8,414,301,975円	8,305,698,150円	101.3%	

4 基金事業実施状況(岩手県医療の復興計画) 被災3県のみ

(1) 平成23年度交付要綱第4及び平成27年度交付要綱第4の別表の事業【176億円】

(ア-1) 事業実績報告(平成23年度交付要綱分)

(単位:円)

地域医療再生計画	事業者名(施設名等 (開設者名を含む))	平成27年度実施事業内容		平成27年度実事業費			
				都道府県助成額	再生基金充当額	事業者負担額	
当該地域における事業			13,008,958,000	1,887,517,713	1,802,126,117	1,797,331,537	85,391,596
5(1) 公的医療機関等の再建	県・医療機関	・被災した県立大槌病院、県立山田病院、県立高田病院の再建支援	6,343,986,000	0	0	0	0
		・被災した岩泉町小本診療所の再建支援 ・宮古市田老診療所の再建支援 ・陸前高田市広田診療所の再建支援	84,264,000	190,541,000	190,541,000	190,541,000	0
		・宮古市田老診療所の再建支援【H26→27繰越分】	19,036,000	10,683,000	10,683,000	10,683,000	0
5(1) 民間診療所等の再建	県・医療機関	・被災した医療機関に対する再建支援(歯科1箇所)	1,175,340,000	65,130,775	44,267,750	44,267,750	20,863,025
		・被災した医療機関に対する再建支援(歯科1箇所)、被災地への新規参入支援(内科1箇所)【H26→27繰越分】	211,955,000	189,355,571	124,827,000	124,827,000	64,528,571
5(2)ア 岩手県医療情報連携ネットワークシステム(仮称)の構築	学校法人岩手医科大学、中核病院等医療機関	・岩手県医療情報連携協議会の開催 ・医療情報連携システムの整備に向けた関係機関による協議実施	856,484,000	408,935,087	408,935,087	408,935,087	0
5(2)エ 地域脳卒中登録システム及び地域がん登録システムの整備	県	・地域がん登録システムの運営、機能強化	12,314,000	11,182,280	11,182,280	6,387,700	0
5(3) 県立宮古高等看護学院の教育環境整備	県	・県立宮古高等看護学院の大規模改修工事の実施(実習施設棟の増築)	110,174,000	110,174,000	110,174,000	110,174,000	0
		・県立宮古高等看護学院の大規模改修工事の実施(実習施設棟の増築)【H26→27繰越分】	141,569,000	141,569,000	141,569,000	141,569,000	0
		・県立宮古高等看護学院にスクールカウンセラーを配置	416,000	347,000	347,000	347,000	0
5(4) 災害拠点病院における非常用設備の充実	県・学校法人岩手医科大学	・基幹災害拠点病院である岩手医科大学附属病院が行うエネルギーセンター整備を支援	4,053,420,000	759,600,000	759,600,000	759,600,000	0
合計			13,008,958,000	1,887,517,713	1,802,126,117	1,797,331,537	85,391,596

(ア-2) 事業実績報告(平成27年度交付要綱分)

(単位:円)

医療の復興計画	事業者名(施設名等 (開設者名を含む))	平成27年度実施事業内容	平成27年度 事業予定額 (計画時)	平成27年度実事業費		
				都道府県助成額	再生基金充当額	事業者負担額
当該地域における事業						
1.(1)のア						
1.(1)のイ						
合計						

(イ) 医療の復興計画に掲げる目標のうち、本年度達成予定状況

- 震災により全壊した県立病院(県立高田病院、県立大槌病院及び県立山田病院)や被災した診療所等(岩泉町小本診療所等)の移転新築等の支援に取り組み、被災地の医療提供体制の推進を図った。
- ICTの活用により、大学と地域の中核病院、地域医療機関における診療情報システムを構築しに向け関係者による検討・協議を行った。
- 被災地域における医療・保健活動の基礎的データを収集するため、地域脳卒中登録及び地域がん登録に係るシステムの整備・運営を行った。
- 被災した県立宮古高等看護学院の校舎改修及び実習施設棟の増築等を行った。
- 本県の災害時医療提供体制を強化するため、基幹災害拠点病院である岩手医科大学附属病院が行うエネルギーセンターの整備を支援した。

(2)平成24年度交付要綱及び平成27年度交付要綱第4の別表の事業【60億円】

(ア-1)事業実績報告(平成24年度交付要綱分)

(単位:円)

地域医療再生計画	事業者名(施設名等 (開設者名を含む))	平成27年度実施事業内容		平成27年度実事業費			
				都道府県助成額	再生基金充当額	事業者負担額	
当該地域における事業			1,850,821,000	1,594,832,415	1,590,746,562	1,590,746,562	4,085,853
被災地における在宅医療提供体制の確保	県・医療機関等	・在宅医療に係る機器整備 ・拠点整備、研修事業に係る支援	117,206,000	33,623,853	29,538,000	29,538,000	4,085,853
被災地における障がい者歯科医療の確保	県・医療機関等	・障がい者(児)歯科医療のあり方検討会の開催	208,000	1,157,538	1,157,538	1,157,538	0
被災地における地域中核病院を中心とした医療・健康情報共有システムの整備	県・医療機関等	・気仙圏域の情報ネットワークシステム整備を支援	250,000,000	249,979,000	249,979,000	249,979,000	0
		・久慈圏域の情報ネットワークシステム整備を支援【H26→27繰越分】	96,701,000	77,661,000	77,661,000	77,661,000	0
医療従事者の確保支援(医師)	県、学校法人岩手医科大学	・医師修学資金 新規貸付定員13人	212,400,000	205,200,000	205,200,000	205,200,000	0
		・教育委員会と連携した医学部進学対策の実施	3,178,000	2,548,240	2,548,240	2,548,240	0
医療従事者の確保支援(看護職員)	県、看護協会等	・看護職員修学資金 新規貸付43人	57,648,000	56,150,000	56,150,000	56,150,000	0
医療従事者の確保支援	県医療局	・被災した県立病院の公舎整備	565,678,000	661,258,000	661,258,000	661,258,000	0
	県	・有識者との対談等を通じた情報発信を実施	13,722,000	13,094,001	13,094,001	13,094,001	0
医療従事者の確保支援(県立宮古高等看護学院の改修に必要な追加支出)	県	・県立宮古高等看護学院の大規模改修工事の実施(実習施設棟の増築)	209,907,000	196,777,761	196,777,761	196,777,761	0
		・県立宮古高等看護学院の大規模改修工事の実施(実習施設棟の増築)【H26→27繰越分】	97,373,000	97,371,492	97,371,492	97,371,492	0
ドクターヘリの運航体制の充実強化	県、県医療局	・ヘリポート整備(胆江圏域) 1箇所	226,800,000	11,530	11,530	11,530	0
合計			1,850,821,000	1,594,832,415	1,590,746,562	1,590,746,562	4,085,853

4,158,105,921 3,987,243,098

(ア-2)事業実績報告(平成27年度交付要綱分)

(単位:円)

医療の復興計画	事業者名(施設名等 (開設者名を含む))	平成27年度実施事業内容	平成27年度事業予定額 (計画時)	平成27年度実事業費		
				都道府県助成額	再生基金充当額	事業者負担額
当該地域における事業						
1.(1)のア						
1.(1)のイ						
合計						

(イ)医療の復興計画に掲げる目標のうち、本年度達成予定状況

- 沿岸被災地における在宅医療提供体制を確保するため、多職種による連携体制構築のための拠点形成等に対する支援を実施したほか、被災地における医療・介護サービスの連携強化を図るため、地域中核病院を中心とした医療・健康情報共有システムを整備する。
- 沿岸被災地の公的病院について、医療従事者の確保を図るため、住環境(公舎)の整備を行った(気仙保健医療圏、釜石保健医療圏)。
- 被災地の医療従事者を確保し、医療提供体制を確保するため、岩手医科大学医学部の入学定員増と一体となった奨学金制度の拡充や看護学生に対する修学資金貸与の拡充を実施したほか、被災した県立宮古高等看護学院の校舎改修及び実習施設棟の増築等を行った。
- 沿岸被災地からの患者輸送体制の円滑化を図るため、胆江地域のドクターヘリヘリポートの整備を推進した。

(3)基金の保有割合及び算定根拠

年度末保管額(C) (「1 基金保管実績」のうち、(1)(2)分計)	平成27年度以降の事業実施 に要する見込額計(D)	保有割合 C/D	(保有割合の算定根拠) 今後、事業が完了するまでに必要となる補助見込額に対する年度末保管額(運用益を含む)の割合
15,917,542,095円	15,917,542,095円	100.0%	